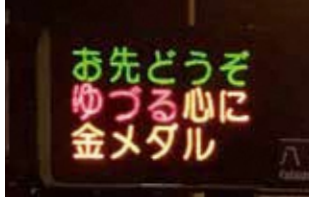
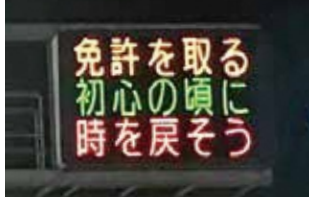
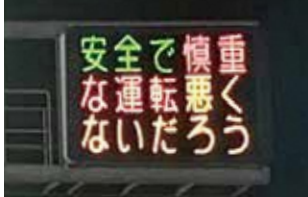


# 交通安全への取り組み

ユニーク標語で注目を集める熊本県警の交通情報板。「事故をゼロに」という思いが込められた標語はどのようにして作られているのか、制作の裏側に迫ります。

また、子どもたちの登下校を見守る交通指導員の皆さんや、【横断歩道での思いやり】【守ってほしい自転車のルール】を紹介します。2020年も市と県警、そして市民がワンチームとなり「事故ゼロ」を目指していきましょう。

## 熊本県警察 標語で交通安全を啓発



## 5文字×3行の制限の中で 笑えて、心に響く標語を作る

### ユニーク標語のファンは全国各地に！

県内51か所に掲示されている交通情報板。そこに映し出される5文字×3行のユニークな標語が、全国的に話題を集めています。芸能やスポーツなど幅広いジャンルで「今、流行っているフレーズ」などをうまく盛り込んであり、掲示後に新作標語を紹介しているTwitterには、ネタの本家本元から「ありがとう！」と反応が来ることも。フォロワーは今や6万4千人を数え、注目度の高さがうかがい知れます。

### 早くも1週間、長くても1か月で刷新

始まりは平成25年夏で、周囲の意見を参考にしながら、歴代の担当警察官が基本的に1人で作成。「長く掲示すると注目度が落ちるので長くても1か月程度では変更するようにしています。おもしろさが注目を集めていますが、15文字でしっかり交通事故防止を注意喚起しなくてはならない。普段からアイデアをメモし、試作の反応を見ながら完成につなげています」と、4代目担当者。

### ワンチームで標語をブラッシュアップ

知恵を絞る担当者に対し、周りから「意味がわからない…」などの厳しい意見が出ることも少なくなく、掲示直前まで標語を磨き上げていくとか。そんな妥協のない姿勢が、インパクトがあり、心に残る標語を生み出しているのでしょう。この春、5代目担当警察官へバトンが受け継がれ、事故ゼロへの取り組みは続いています。



5年ぶりに交通企画課に戻り、5代目を引き継ぎました。日々、標語を考えながら生活することは、警察官人生でも初。これまでの標語の反響の大きさに驚いていますが、まずはユニークなだけでなく「事故をゼロに」という思いが伝わる内容にこだわっていきます。

5代目担当 交通企画課  
いそぎ まさし  
磯崎 将志さん



新作標語は「熊本県警察本部」Twitterでチェック!

## 交通指導員 地域とともに交通安全に取り組む

## 市民の代表として街角に立ち 事故防止につなげる

優しい笑顔で子どもたちの登下校を見守る交通指導員。現在本市では約400人の交通指導員が、街頭活動や地域の行事における交通整理など、多岐にわたり活動しています。交通指導員区協議会の会長5人に「ドライバーに気をつけてほしいこと・守ってほしいこと」を聞きました。



ゆずり合いの気持ちと子どもの見本になるマナーを大切にしてください。

中央区新町  
ふじわら けんご  
藤原 謙吾さん



交差点では徐行して、特に左折時の巻き込みに注意しましょう。

東区戸島西  
はまだ あきひろ  
濱田 明博さん



黄色信号での無理な交差点進入は危険。黄色は「止まれ」の気持ちで。

西区上代  
はやしだ たかし  
林田 隆さん



朝は時間に余裕を持ってください。ルールを守り無謀運転は禁止!

南区近見  
いちかわ てつや  
一門 哲也さん



横断歩道の近くで歩行者を見かけたら、必ず止まりましょう。

北区弓削  
いちほら けいすけ  
市原 敬助さん